

北大版看護実践能力開発ラダー

2019年2月21日改訂

レベル		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
定義		助言や指導を受けながら基本的な臨床実践ができる	倫理性をもち、自立して対象者の健康と生活を支える臨床実践ができる	高い倫理性を身につけ、対象者の健康と生活を支える実践モデルとなることができる	チーム医療のキーパーソンとしてあらゆる状況において最適なケアマネジメントができる
臨床実践レベル		助言を受けてできる	一人で行える		創造・調整・教育できる
活動(ケア)の対象者		受け持ち患者・家族	看護ケアチームの患者・家族		あらゆる対象
協働する対象者		同僚・多職種	同僚・多職種・学生・地域の医療福祉職		あらゆる対象
役割		看護ケアチーム及び医療チームのメンバー	看護ケアチーム及び医療チームのメンバー 部署の役割		指導者・ケアマネジメント 医療チームのキーパーソン
JNA版ラダーレベル		レベルⅠ・Ⅱ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
看護実践能力 看護師の看護実践に必要な能力	ニーズをとらえる力 対象者のニーズをとらえ判断し、その人に適した方略を選択する	①日常生活援助の基本的技術を習得し原理原則に基づいて実践できる ②看護基準を理解し、指導を受けながら、受け持ち患者・家族の看護計画立案・実践ができる ③患者の急変に対して初期対応ができる	①患者・家族に参加型看護を実践し個別性のある看護過程が展開できる ②生活の場を見据えた患者・家族の支援を計画的に実践できる ③患者に合わせて看護技術を提供できる ④患者の急変時に部署内のメンバーと協力し、処置を実践できる	①生活の場を見据えた患者・家族のセルフケア能力を高める支援ができる ②看護上の問題を解決するために、リソースナースを活用できる ③看護実践の評価をチームにフィードバックできる ④患者の急変を判断して対応できる	①看護実践の役割モデルとなる ②従事した領域で専門性を発揮し、看護を創造できる ③困難・複雑な状況において看護上メンバーと協働しながら解決に向けた行動が取れる ④患者の危機状況を迅速に判断し、リダクションをとれる
	ケアする力 ケアの実施・評価を行う				
	協働する力 対象者の情報を多職種間で共有し、ケアの方向性を検討し、連携する ※スペシャリスト・地域を含む	①ケアの対象者を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者から収集できる ②同僚・多職種と密にコミュニケーションをとることができる	①ケアの対象者の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる ②積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	①ケアの対象者がおかれている状況を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる ②多職種間の連携が機能するように調整できる	①多職種連携が十分機能するように、その調整役割を担うことができる ②関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる
	意思決定を支える力 様々な場面において、その人らしい選択ができるための意思決定を支える	①ケアの対象者や周囲の思いや考え、希望を知ることができる ②看護実践の中で倫理的問題に気づくことができる	①ケアの対象者や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる ②ケアの対象者や周囲の人々の意向の違いが理解できる ③看護実践の中で倫理的問題を相談できる	①ケアの対象者や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる ②倫理的視点で看護実践に取り組むことができる	①適切な資源を積極的に活用し、ケアの対象者や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる ②法的および文化的配慮など多方面からケアの対象者や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる ③倫理的問題の解決に向けて、調整的役割を果たせる
	マネジメントする力 組織や管理において必要とされる役割を理解し、責務を果たす	各種マニュアルを把握し、実践に結びつけることができる	各種マニュアルを理解し、実践できる	部署内の問題・課題を認識し、解決に向けてリーダーの役割を遂行できる	部署の目標作成に参画し、目標達成の推進役としてリーダーシップを発揮できる
組織的役割遂行能力 安全で効率的な組織運営に必要な役割を遂行する能力	チームで働く力 医療チームメンバーと合意形成を促し、求められる役割を遂行する	チームの一員としての役割を理解し、責任を持って果たすことができる	①指導を受けながら各勤務帯または委員会等のリーダーの役割を理解できる ②部署全体を見ながら積極的にチームの業務に協力できる	部署の委員会・会議の推進役になり、成果を上げることができる	組織の現状を認識し、部署内外の委員会・会議等で推進役となる
人間関係形成能力 同僚や多職種と良好な関係を築き協働できる能力	良好な関係性を形成する力 対人関係において、効果的な手段を用いて良好な関係を形成する	①ケアの対象者を取り巻く関係者の多様な価値観を理解し、尊重できる ②自分の考えを多職種にわかりやすく表現できる	①多職種を尊重した行動がとれ、効果的なコミュニケーションがとれる ②自分の考えを根拠性を持って伝え、意見交換できる	①対象や状況に応じて、効果的な手段を用いてチームワークを高められる ②他者から信頼される人間関係を構築できる	①多職種連携が十分機能するよう、中心的役割を担い、調整できる ②他者と協調性をもち、調和のとれた人間関係を形成できる
	セルフコントロールする力 ストレスマネジメントを適切に行い、対象や場面に応じ、感情・思考・行動をコントロールする	①自分自身のストレスを自覚し、周囲に相談できる ②怒りや不満などの感情を落ち着かせることができる	①自分に合ったストレス解消の方法を考え行動できる ②怒りや不満などの感情をコントロールし、冷静に議論や対応することができる	①自分の感情をコントロールし、場に適した行動が取れる ②怒りや不満などの感情をコントロールして対応し、前向きに議論をおこなうことができる	①ストレスマネジメントができ、その重要性について後輩に指導できる ②感情的になった相手の冷静さを取り戻し、建設的に関わることができる
教育研究能力 キャリア開発を推進する能力 学生や同僚の成長を促し、教育的関りができる能力 看護の質保証・質向上を図ることができる能力	探求・創造する力 リサーチマインドを持ち、科学的根拠のある看護を創造する	院内外の研修・研究に関心を持つことができる	部署の看護研究に役割をもって参加することができる	学習会・看護研究に取り組み、研究論文の内容を看護実践に活用できる	指導を受けながら看護研究をまとめ、看護の質向上に結び付けられる
	学びを向上する力 自己の能力開発を行い、看護職として専門性を高める	必要な自己学習に取り組むことができる	自己のキャリアプラン開発とライフプランをあわせて考えることができる	自己のキャリアデザインに合わせて準備がすすめられる	自己のキャリア開発を考え、自律的に行動できる
	教え育む力 専門職として成長できるよう、働きかける	同僚の看護実践、学生実習に関心を持つことができる	助言を受けながら、後輩や学生の支援ができる	同僚や学生の個性を考慮した効果的な指導ができる	同僚、学生の課題・目標を理解し、達成に向け指導ができる